

キャラクター名  
ヨルドランド・ブリッジ

プレイヤー名

種族	ナイトメア	種族特徴	異貌、弱点[水氷、銀+2]		
生まれ	戦士	性別	女	年齢	31
冒険者Lv	11	経歴	経歴B4-4大切な約束をしている 経歴B5「4役にたたない特技が有る 経歴B1-2頭と呼べる人物がいる 冒険に出た理由、病の家族、恋人を救うため		
経験点	0				

技	7	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
		器用度	10	3	2	22 + 2	4
体	15	敏捷度	7	6	2	22 + 2	4
		筋力	6	4		25	4
		生命力	6	9		30 + 6	6
心	8	知力	10	4		22 + 2	4
		精神力	7	11		26	4

技能	Lv.	技能	Lv.
ファイター	11		
コンジャラー	10		
スカウト	3		
レンジャー	9		
セージ	2		
エンハンサー	6		

戦闘特技			
タフネス	2122p		p
治癒適性	2122p		p
不屈	2123p		p
ポーションマスター	2123p		p
防具習熟A/盾	1-282p		p
頑強	1-279p		p
マルチアクション	1-292p		p
防具習熟S/盾	1-282p		p
超頑強	2-228p		p
防具の達人	3-213p		p
			p

言語	会話	読文
エルフ語	○	○
交易共通語	○	○
汎用蛮族語	○	
魔法文明語	○	○
リカント語	○	
ブルライト地方(ユーズィ詠り)	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
ビートルスキン	
キャッツアイ	
ストロングブラッド	
マッスルベアー	
リカバリィ	
メディテーション	
強靱なる丈陣Ⅰ	
陣率：慮外なる列激Ⅰ	

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	11	15	15	15
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要 ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	ディバインスキン	18	1	10
盾	魔剣 シルバーリア・ジェネラル	22		4
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				3
回避技能	ファイター	合計値	16	18

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
古傷の定まらなヘヴィアクス・カスタム3+1 <small>魔法の発動時、「古傷の」「定まらな」のピアスカードを持ち、魔法の武器であり、3段階のオーガナイト召喚である。</small>	1H両	23	2	2d+ 17	10	16	28										
シルバーリア・ジェネラル <small>下記に詳細あり</small>	2H	22	2	2d+ 17	12	16	42										
ナイフ	1H投	1		2d+ 15	10	15	1										
マレット	1H投	1	1	2d+ 16	12	15	6										
パンチ <small>武器無しのデータ</small>	1H拳	0		2d+ 15	12	15	0										
キック <small>武器無しのデータ</small>	1H#	0	-1	2d+ 14	12	15	5										
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	26 m	78 m

回避	防護点
2d+ 16	18

HP
114

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 6	2d+ 7

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 17	2d+ 17

MP
56

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
操霊魔法	10	14			

装備品	説明
頭 スマルティエのヘッドバンド	HP回復効果を受けたときMP1点回復
耳 スマルティエのピアス	スマルティエブランド
顔 アイソアーマスク	防護点+1、遠隔攻撃、形状攻撃かつ対象1体のものを装備者を対象にしやすくなる
首 熊の爪	マッスルベアーの効果+1
背中 野伏のサーマルマント	温度変化を無効、火、水氷ダメージ1軽減
右手 スマルティエの手甲、スマルティエの腕の腕輪	スマルティエブランド、器用+2
腰 多機能グリーンベルト	装備者を自然環境にあるものとする
足 スマルティエのアングルスリッパ	転倒から起きたときのペナルティを-1にする
その他スマルティエの叡智の腕輪	知力+2

装備品	説明
スマルティエの軍用バックパック	スマルティエブランド
左手 スマルティエの手甲、スマルティエの腕の腕輪	スマルティエブランド、敏捷+2
スマルティエの武道帯	リカバリィの回復量に生命力Bを追加

その他メモ	自動失敗 チェック
銀の長髪に褐色の肌、薄明るいオレンジブラウンの瞳をもつナイトメア。	
恵まれた体格、恵まれた知性を持つも、魔導公国では少々受け入れられにくい気質の性格をした人物。種族についての差別こそ有るものの、後継に恵まれなかった侯爵家の思惑のため、つい最近まで"長男"として育てられる。経験を積ませるために軍に従事させられた経験もあり、次期侯爵候補として一目を置かれる。しかし7年前、侯爵と側室とのあいだに念願の男児が生まれ、廃嫡こそされないままに家督の継承権を剥奪される。本人は気にしていない。これらのこともあり、正室である母親の立場が悪くなるも、良くも悪くも貴族の人間である両親、側室とともに種族間差別程度に意識がとどまっており、実はそれほど家族仲は悪くない。	□□□□⑤ □□□□⑩ □□□□⑮ □□□□⑳ □□□□㉑ □□□□㉒ □□□□㉓ □□□□㉔ □□□□㉕
あくまで家に仕える使用人たちからの扱いがおざなりになったり、周囲の視線が煩わしくなった程度の認識。側室、正室は仲がいいわけでもないが悪くもない。侯爵はなんだかんだ二人が大好き。"娘"でもあるヨルドランドが本当は可愛くて仕方ないが種族的、貴族という立場からおおっぴらに可愛がれずジレンマ。	

